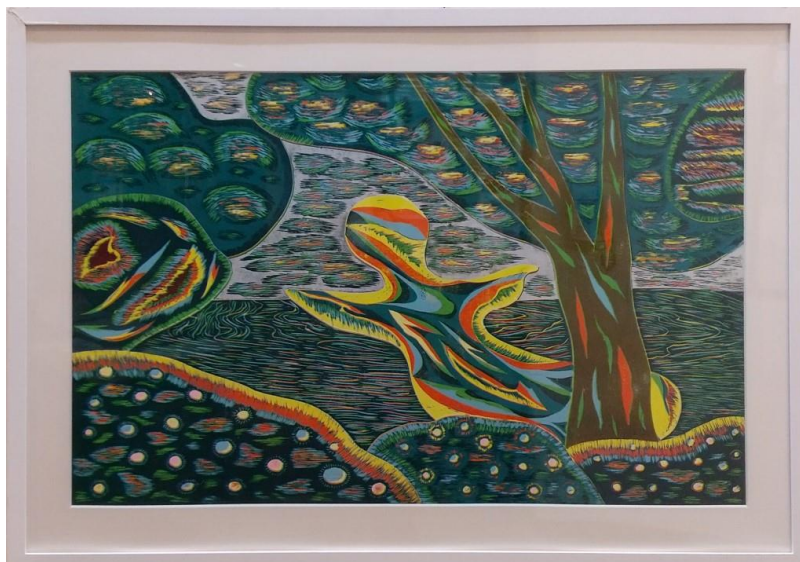




石井清  
パステル画  
スウェーデンの友人です。  
名はアンネリー



稲葉雪子  
水彩画「実のなる季節」  
  
散歩道で見つけた雑草、木の実はとても魅力的でうれしくなります。  
きれいな花より木の実が好きになったのは、年をとったせいだと思う



犬飼三千子  
木版画「花によせて」  
  
木版画の「彫り進み」の技法によるので色を沢山使うことができます。  
自然の破壊のなかった頃、豊かな自然の中、花の咲く森で遊ぶイメージを制作しました。



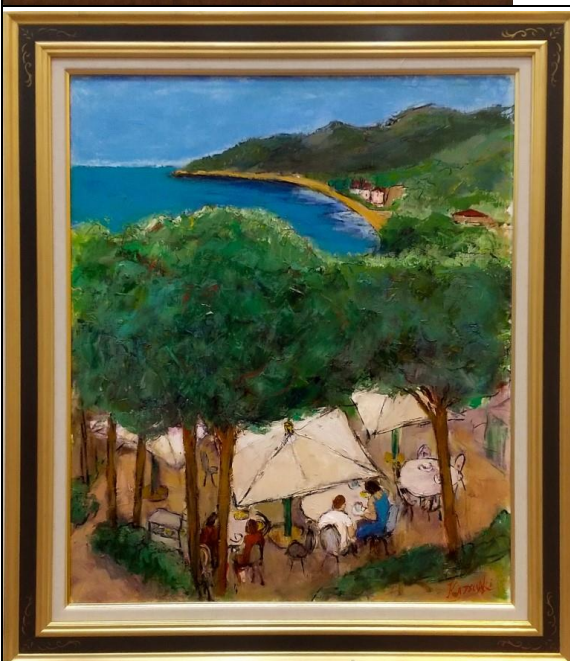
扇谷玉華  
水墨画「蓮池の朝」

さわやかな麻の蓮池の風景  
です。



大前美登利  
スクリーンプリンティング  
(版画)「Vicissitude」

50 版の刷り重ねです。



佐藤勝昭  
油彩「サルジニアの思い出」

1982 年にサルジニアのカ  
リアリで開催された  
ICTMC という国際会議に  
参加したときのホテルの窓  
からの眺めです。  
地中海の青い海が印象的で  
した。





佐藤英行  
油彩「老桜」

我がアトリエの庭に 100年ものの桜があり、くたびれましたが、時代を乗り越えてきました。



志村幸男  
油彩「幻想」

夢で見た風景。明るい未来を願って描きました。



杉崎靖夫  
油彩「記憶」

東日本大震災 10 年目 3 月 11 日午後 2 時 46 分  
鳩風船が一斉に放たれた。  
鯉のぼりとシャボン玉に見送られ。  
大津波被災地宮城県閉上  
(ゆりあげ)



千葉純子  
日本画「いのち」

近所の農家の畑は「いのち」  
を感じるものばかり。  
少しでもいのちを感じてい  
ただけると幸いです。



塚田稔  
油彩「ドイツの思い出」



西野優子  
油彩「春が来た」

コロナ禍の中で楽しい春を  
思い浮かべて描きました。





福家悦子

日本画「花影」

須賀川の牡丹園でスケッチしました。

牡丹の日除け用に一面によしずが張られ、よしずの手前に咲く牡丹、後ろに影のように咲く牡丹を見て絵にしたいと思いました。



藤井繁

洋画（油彩）「閉塞」

パンデミックにより外界への道が閉ざされ、ボー然とする人物と、その気も知らず、外出をねだるネコとの対比を表現してみました。



松島征一郎

洋画（油彩）「フラメンコダンサー」

ダンサーの方にモデルになっていただいて制作しました。衣装と背景の赤との調和を図り、人物の存在感を出すよう意識しました。制作中は雰囲気を出すため、ダンス音楽をテープで流していました。



松田洋子  
洋画（油彩）「空蝉」

「空蝉」とはセミの抜け殻のことで、俳句では晩夏の季語です。この成虫が抜けた後は、セミの種類によって色も形も異なります。殻には眼や節の一つ一つの跡が精緻に残ります。その様子を作品にしてみました。  
「空蝉のいづれも力抜かず  
みる」(阿部みどり女)



松並孝  
洋画（油彩）「ネコの遊ぶだらだら坂」

だらだら坂で遊ぶネコたちがなんとなく心に残りました。



三村修一  
彫塑「すわる」

作者の手を離れた塑像はいのちを得た少女のように、自らの道を歩き、そしてたたずみます。



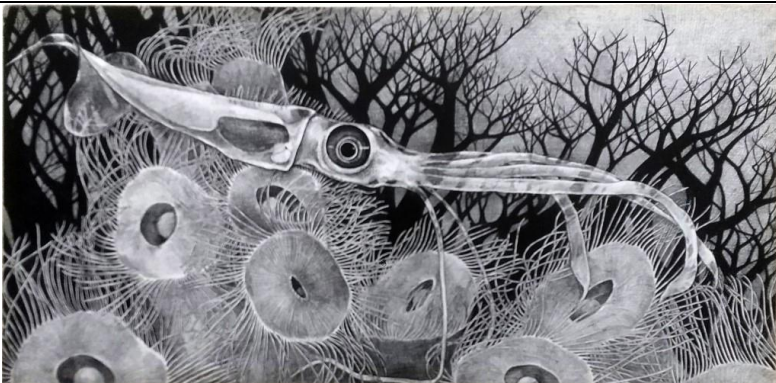


安富信也  
洋画（油彩）「洗礼」



矢野素直  
洋画（油彩）「夏の終わり」

夏空に向かって立つ向日葵  
生色に満ち力強い彼終えた  
花の色、形を組み合わせ  
て絵画空間を作り出せたらと  
思う



山口愛美  
MDF ボード・鉛筆「BLUE」

深海の世界を描いています。  
す。



山口小枝

工芸（染織）「麦畑の夢」

国産絹糸、手染め、手織りの帯地です。デザインからすべて自分で行っています。



